

令和 4 年度 下 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番1号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,223,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2上下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,825	6,265	6,497	4,621	6,391
	移動児童館利用者数	349	106	86	59	132
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※13(12)	※7(7)	※5(5)	※4(4)	※10(9)
	開館日数(単位:日)	151	155	151	94	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施しました。 開館時間を16時半までとし、閉館後は館内消毒・清掃時間とし新型コロナウイルス感染対策に努めました。 ②常勤職員3名(内1級児童厚生員2名)を配置しました。 ③未就学児の保護者用と小学生用便りをそれぞれ発行しました。 館内に行事の案内板を作り掲示しました。手形足形作品や工作などは見本を受付横などに掲示し、利用者にわかりやすく掲示しました。 毎月の便りにQRコードを載せ、すぐにホームページを検索できるようにしました。 ホームページは定期的に更新しました。ホームページは、スマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせや開催した事業の報告を写真付きで分かりやすくブログで配信をしました。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。緊急時の案内は迅速に更新できるようにしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいつでも伺えるようにしました。また利用者アンケートを1回実施しました。記入された意見については真摯に対応しました。職員で対応できるものについてはすぐに対応しました。修繕や変更が難しいものについては、代替案を提案しました。アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、ホームページに公開しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による朝、夕の日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の清掃を実施しました。 岐阜版アダプトプログラムに申込み、週1回児童センター周辺道路を清掃しました。 部屋の窓は常に開け、換気扇を回し、加湿空気清浄機を使用して、換気と加湿対策をしました。館内施設は噴霧器で定期的に消毒し、玩具の消毒は毎日2回(昼、夕方)実施し、拭くことのできない玩具や本、木製玩具はオゾン保管庫で行い、感染対策を徹底しました。玄関、受付に消毒液を、手洗い場やトイレはハンドソープと消毒液を設置しました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気、トイレの消毒には特に気をつけました。 園庭の草刈りや花壇の手入れは職員が適宜行い、季節折々の花を鑑賞できるようにしたり、遊具まわりなどの草を除去し環境美化に努めました。 ③未使用の部屋については消灯や温度管理(弱やオフ)にし節電に努めました。業者によるエアコンフィルターの掃除や月1回空気清浄機の掃除を行いました。 おもちゃ病院「ぎふ」に玩具の修理を依頼しました。廃材や寄付物品を活用した事業を実施し、環境に配慮した施設運営をしました。 ④専門業者による設備、遊具の点検を依頼しました。月1回、職員による施設内外の安全点検、月2回のAED点検の実施、玩具の点検をし、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できない場合は、利用を中止しました。また日頃から職員が点検を行い、危険箇所を発見した場合は修繕を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。軽微な修繕(タイルの剥がれや おもちゃの柵や壁などのペンキ塗り、平均台)は職員が修繕を行いました。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 また災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告をしました。防犯・防災訓練(毎月1回)を実施しました。事務室を離れる時は、緊急通報装置を携帯しました。警察に定期的に巡回を依頼しました。 個人情報が記載された用紙については、鍵のかかる場所に保管し、使用後すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 また、非常用備品の確認を行い、賞味期限の確認をし、交換をしました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和4年12月2日～令和5年12月11日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和4年12月3日～令和5年12月14日 回答者数: 50人(小学: 1年5人、2年3人、3年6人、4年13人、5年16人、6年7人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 明郷(10人)、岐阜(5人)、島(4人)、徹明さくら(3人)、城西(3人)、則武(3人)、鏡島(2人)、鷺山(2人)、西郷(2人)、その他市内(9人)、その他市外(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(8%)、30代(62%)、40代(20%)、50代以上(10%) 【利用頻度】 初めて(10%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(4%)、週1回(30%)、2週に1回(16%)、月1回(36%)、その他(4%) 【来館相手】 子・孫(88%)、孫(6%)、友人(6%)、その他(0%) 【子・孫の年齢】 0歳(31%)、1歳(21%)、2歳(35%)、3歳以上(13%) 【来館方法】 徒歩(8%)、自転車(13%)、自家用車(77%)、その他(2%)

利用者アンケートの実施結果	【何で知った】 ホームページ(45%)、広報紙・チラシ(0%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(41%)、ぎふし子育て応援アプリ(6%)、ソーシャルメディア(2%)、その他(4%) 【評価】 (あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(88%)、ほぼ満足(10%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 明郷小(43人)、岐阜小(2人)、鏡島小(2人)、鷺山小(1人)、長良西小(1人)、鶉小(1人) 【学年】 小学: 1年(10%)、2年(6%)、3年(12%)、4年(26%)、5年(32%)、6年(14%) 中学: 1年(0%)、2年(2%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(12%)、毎日(0%)、週4・5回(8%)、週2・3回(30%)、週1回(26%)、その他(24%) 【来館相手】 ひとり(13%)、友人(69%)、兄弟姉妹(7%)、父母(7%)、祖父母(0%)、親戚(4%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(42%)、自転車(48%)、自家用車(10%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ボールあそび(25%)、バドミントン(21%)、マンカラ(9%)、ぬりえ(8%)、ソリティア(8%)、サッカーゲーム(8%)、一輪車(6%)、竹馬(4%)、その他(11%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> 校区(徹明さくら)から少し遠いので、もう少し近くにあったらいいと思います。 →いつも利用していただきありがとうございます。市内には児童館・センターが13館あり、校区によって遠く利用しづらいところもあると思いますが、よろしくお願いします。 寝相アートをやって欲しいです。 →今後考えていきます。 日程表(用紙)があると嬉しいです。 →作成し、掲示しております。 子供用のトイレがあると嬉しいです。 →新たに設置するのは難しいです。便座についている子ども用の便座や多目的トイレの補助便座をご利用ください。(クラブへの意見) また手遊びや絵本の読み聞かせを、やってください。 →毎週開催しております。 換気しないといけないので仕方ないと思うが、室内が寒いと感じることがあります。 →室温を気にしながら換気しております。ご協力をお願いします。 午前中の集いもあると嬉しいです。 →コロナ対策のため部屋が密にならないようにするためサーキットあそびなどの自由あそびを遊戯室で実施しています。今後、様子を見ながら実施していきます。 1才のイベントでは色や数などの知育活動を取り入れていたので、2才でも少し知的な活動があると嬉しいです。 →ご意見ありがとうございます。活動内容を考えさせていただきます。 子どもの体重が重くなって、リトミック(親子でメリーゴーランド)が少し辛いので、サーキット運動などにして欲しいです。 →持ち上げなくてもいいように、手をつないで回ってもらうように声をかけていきます。サーキットは自由あそびで実施していますのでご参加ください。 <児童> 自分で作って遊ぶのがほしい →だいこんひろばの工作は、作って遊べます。毎月1回ありますので、参加してください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□既存業務、新規事業について(効果性③)

新規事業

・ぎふ木育教室を保護者対象の「大人クラフト」講座として10月に岐阜県産のヒノキを使った「マラカス作り」を開催しました。幼少期から木を身近に感じられるきっかけを作り、木育が目指す心を育むために実施しました。親はヒノキの香りとぬくもりを感じ、幼児は保護者が作ったマラカスを音楽に合わせて鳴らして大喜びしていました。
・1才や2才のリトミックを見て0才も参加したいと要望があり、ベビーリトミックの講師が見つかったため、3月から開催しました。
・利用者の要望があり、0才の集い終了後に単独の事業として、「ハイハイレース」を1月から毎月開催しました。1才の集いでも要望があり、集い終了後、3月から開催しました。

既存業務の改善、工夫

・0才のリトミックは予想を上回る反響があり、すぐに定員がいっぱいになりました。新型コロナも落ち着いてきている時期で、まだまだ動きにくい0才対象のため、講師にお願いして、キャンセル待ちの方も受講できるようにしました。
・カンパジ作りを2か月ごとに1週間開催しました。開催のお知らせを便りだけでなく、カンパジ専用ポスターを作り、開催のお知らせを早めに利用者にPRし、上半期よりも参加が多くなりました。
・元科学館の館長に依頼し「サイエンスショー」を3月に開催しました。前回は小学生以上を対象にしていたのですが、今回は小学生と幼児の兄弟がいる保護者から家族で楽しみたい、幼児の保護者からも参加したいという要望があり、家族みんなで楽しんでもらえるようにしました。マジックのようなショーに幼児や児童はもちろん大人もびっくりするような科学の不思議さを体験でき、とても楽しんでいました。
・上半期に開催した絵本ライブは、定員がすぐにいっぱいになったので、定員を増やし開催しました。当日も絵本ライブを知らずに来館していた利用者に声をかけて参加してもらいました。親子で体を動かしながら、絵本の楽しさを体感しました。おもしろい絵本がたくさん紹介していただけたため、家でも読んでみたいでと好評でした。

□利用促進、利用者増の方策(効果性⑥)

・リトミックを0才、1才、2才以上の年齢別に行い、3名の講師に依頼し開催しました。
・ホームページにお知らせや活動の様子をブログに載せることで、乳幼児のクラブやイベントの楽しさが伝わり、ホームページを見て来館したという新規の利用者やイベントへ参加したいという利用者が多くなりました。特にブームになっている0才の「ハイハイレース」を2月の活動終了後、HPに掲載したことで、電話や来館時にどのように参加したらいいのかわかり合せて多くありました。3月のハイハイレースは、初めて参加される親子や平日にもかかわらず動画撮影をするために父親と一緒に来館する親子が多く参加されました。また、父親が赤ちゃんを2人だけで参加をしてくれました。
・遊戲室に季節ごとの壁面飾りを用意し、自由に遊んだり、フォトコーナーとして楽しめるように用意しました。フォトコーナーが変わるたびにホームページでお知らせしました。変わるたびに来館され、写真を撮って、祖父や祖母に送ってますと嬉しそうに話してくれる方や親子で撮影するため職員が撮り、喜んでいただけました。
・幼児室やおもちゃ図書館が利用者が密にならないように、広い遊戲室にも遊びのコーナーを1週間毎に内容(収穫ごっこや運動あそび、鬼退治、ダンボールマシンあそびなど)を変更し、長期休暇以外の平日毎日実施しました。また廊下におもちゃを準備し、幼児と小学生と一緒に遊べるコーナーを準備し、交流ができるようにしました。
・手形足形アートや工作は、平日に毎日実施し、定番のものとし、しまいやお雛様など季節を感じられるものを準備し、利用者が毎回新しいものに出会えるように工夫をし、利用者が作りたいときにいつでもできるように対応をしました。そのため、誕生日やマンスリー記念日に作られる利用者が多く来館しました。
・児童と幼稚園児(保護者同伴)で遊べるおもちゃ作り「だいこんひろば」を毎月1回開催しました。当日来れないけど作りたいという児童には、別日に作ってもらうように対応しました。
・新しいおもちゃを購入したことで、そのおもちゃを目的に来館する利用者が多くなりました。特に幼児には、ドレミファマットや大工あそび、ミニカーが人気でした。小学生には、希望していた外遊び用のおもちゃ「ホッピング」が大人気で、できた回数を数え記録を更新しようと意欲的に毎日チャレンジしに来館していました。
・休日に父親も参加できるひろば(ぶどうひろば)を継続して開催しました。実施内容の中で足形アートを実施したときは、今までなかったプレゼントの中で一番嬉しいと感激する父親がいました。また、小学生がパネルシアターを披露してくれた回は、自分の子も成長したら、このようなことができるようになるのかなと 微笑ましく楽しそうにみている保護者が多くいました。

□人材育成の方策(安定性⑫)

・不審者対策訓練(10月:中警察署警察官)、普通救命講習会(11月:中消防署)、虐待防止研修会(1月:岐阜市人権センター)(中央青少年会館、ドリームシアター岐阜共催)に参加しました。
・ぎふ木育教室指導者研修会(岐阜県林政部恵みの森づくり推進課主催)(2月)に参加しました。
・法人独自で職員スキルアップ研修会(10月、11月、12月、1月毎月1回、2月のみ2回)、児童館ガイドライン研修会(3月)に参加しました。

□地元の諸団体との連携、交流 ・ 地元の法人その他団体の育成、地元住民の活用(貢献性⑭)

・明郷小学校コミュニティスクール「地域教育部」の委員として、小学校に協力しました。
・青少年育成市民会議家庭部会主催の親子サークルに場所を提供し、児童センターの来館者との交流の機会を作りができるよう職員が働きかけ、地域活動がさらに広がるように支援しました(木之本、本郷校区)。毎月発行している便りや実際に活動をしている様子を見て、新しく加入する方や他校区から来館し、交流会に参加される方が増えました。
・児童に事業の手伝いや乳幼児や障がい者との交流(花や季節の飾り「ハロウィン」、「干支うさぎ」、「おひなさま」)を作って届けたり、いただいた作品に対してのお礼の手紙を書いて渡す)を行いました。
・子どものころ児童センターを利用していた地元出身の講師にリトミックを上半期に引き続き指導をしてもらいました。
・障がい者の方から折り紙で作った作品や絵の寄付をしていただき、受付に紹介文とともに掲示し、利用者が楽しませてもらいました。

・地元の方から折り紙で作った蓋つきの六角形の箱をたくさん寄付していただき、乳幼児の集いや小学生の事業、工作、移動児童館事業に活用しました。
・当法人内の就労継続支援B型事業所に施設の清掃を依頼しました。
・おもちゃ病院ぎふ(おもちゃドクター7名)に来館してもらい、利用者の壊れたおもちゃや児童センターのおもちゃを修理をしていただきました。

□地元での社会活動等への参加・協働事業の実施(貢献性⑮)

・下校時の見守りや子ども110番の家の協力をしました。子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るために協力しました。
・11月に本郷校区で開催された「けやきまつり」に当法人の就労継続支援B型事業所2施設と児童センターでコーナーを出しました。児童センターはクリスマスの簡単工作コーナーを担当し、約100名の参加者が楽しんでくれました。
・10月から岐阜版アダプト・プログラムに申込み、施設まわりの道路を週1回(水曜日)清掃しました。
・明徳、京町の各校区の青少年育成市民会議と未就園児親子サークルを開催しました。
・第3ブロック(13校区)内の親子を集め、「みんなで遊ぼう!交流会」を各校区の青少年育成市民会議の方と一緒に中央青少年会館で開催しました。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	□心がやすらぐ環境作りに取り組まれており、子育て家庭の居場所になっていることをよく感じられる。 ・保護者や児童の居場所の1つになるように、今後もアンケート調査や事業に参加した後の感想、利用者との会話から取り入れてほしい活動をお聞きし、ハイハイレースなどのブームとなっている活動などを取り入れて、事業を開催していきます。 ・土日祝に父親の利用が多いことを生かした事業を開催していきます(ぎふ木育教室、未就学児と父親の工作、小学生の父親と運動遊びなど)。 ・平日毎日事業があることで、いつも利用者が来館していることも、お友達を作りたいという思いでやってくる新規利用者の来館につながっているため、新規利用者が継続して利用していただけるように、自由参加の集いを週1回続けていきます。 また、遊びのコーナーや工作など内容に旬なもの、新しいものを取り入れていきます。 □子どもたちが主体となって活動できる機会の提供を行っていることを評価する。 ・児童が発案した企画を可能な限り実現できるように、職員がサポートしていきます。今年度実施した活動の中で、またやりたいという意見の上がったものは継続して行っていきます。また児童センターの中だけでなく、地域のまつりなどでも、遊びのコーナーを提供するなど児童センター外でも活動の場が広がるようにしていきます。
今後の取組み	□児童館活動の幅が広がるよう、職員だけでは不足する部分は運営委員や母親クラブ、地域の方の力をお借りしたり、岐阜県林政部森林活用課 木育推進課の「ぎふ木育教室」に申込み、さまざまな事業を開催していきます。 □児童センターの園庭や周辺道路の清掃活動を児童と一緒に、環境整備に取り組んでいきます。 □資質向上をはかるため、研修会に参加し、研修を活かした事業を行っています。 ・職員スキルアップ研修会を充実させ、小学生、幼児、保護者向けと内容を変えて実施していきます。また、ドリームシアターぎふのものづくり講座にも参加し、職員の事業実施力の向上に努めます。また、岐阜市消防本部による普通救命講習の開催により、リスク対応力を強化します。職員は研修で学んだ事を他の職員に伝達・共有し、自館の行事に反映できるようにしていきます。事業団児童館所長で組織する虐待防止委員会での研修・事例研究などを進めていきます。 □アンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握し事業を実施していきます。 □児童センターを居場所の1つとして保護者や児童に思ってもらえるよう、来館した一人一人に目を配り、話しかけ、話を聴いたり、相談を受けます。また、必要に応じて学校など他の機関との連携強化を図り、児童館の「居場所機能」を充実します。 □児童の意見を取り入れ、障がい者や乳幼児と交流できる事業を実施していきます。

●所管課の意見

- 人気のある講座や活動について定員を増やしたり対象年齢を広げるなどし、幅広く利用者に参加してもらえるよう工夫している。
- 人気の高いハイハイレースや年齢別のリトミックの開催、手形足形アートの実施など、利用促進につながる取り組みを行っている。
- 地元のお祭りに参加し、事業を実施するなど、児童館の取り組みを外へも広げ、地域連携や地域の活性化に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

順調な運営だと感じる。
 明るいい清潔で使いやすい場所だと感じた。また、父親が参加しやすい雰囲気作りがなされているとも感じた。